



◎「戦争法案」急速に拡大した反対の輪

◎私のブログとツイッター

メールアドレス：masahiro3660@mac.com 上田市下之郷 473-1 TEL38-4452・FAX38-7935・携帯 09015542698 【わたなべ正博後援会】

《部内資料》

「戦争法案」に対する反対運動が急速に拡大し それはかつてないものに

審議が進めば進むほど、「反対」意見が増え
説明すればするほど「説明不足だ」という声が強まるという”珍現象”

反対の輪

● 学者や弁護士など憲法の専門家の大多数が、この法案は「違憲」だとしています。それは憲法審査会に出席した3人の参考人だけではありません。東京新聞は大学で憲法を教える教授ら328人にアンケートを実施しましたが、回答者の9割に及ぶ184人が「憲法違反」だと答え、「合憲」と回答したのは7人(3%)にすぎません。『憲法判例百選』の執筆者198人へのアンケートでも、「憲法違反の疑いなし」はたったの4人でした。

● 大学人や研究者、教育者なども反対の意思表示を行っています。「安全保障関連法案に反対する学者の会」の呼びかけに応えた賛同者は学者・研究者1万661人、市民20305人(7月16日現在)に上りました。

● 古賀誠、加藤紘一、野中広務、山崎拓など自民党の元幹部や旧防衛官僚だった柳沢協二元内閣官房副長官補、旧外務官僚の孫崎享さんなども反対を表明しています。このような異例の事態が生じたのは、安倍政権による集団的自衛権の行使容認が現憲法の枠を踏み越えたからで、自民党が変質して右

化したために保守勢力の一部が離反し始めたことを示しています。

● 内閣法制局長官の経験者も違憲論を主張しています。第1次安倍内閣での法制局長官だった宮崎礼彦さんや小泉政権での法制局長官だった阪田雅裕さんなどがそうです。このような事実も、安倍首相が歴代政権の憲法解釈を踏み越えてしまったことの何よりの証拠です。

● 地方議会でも法案への反対や慎重審議などを求める意見書採択の動きが続いています。意見書は405議会から衆院に提出され、うち「反対」「慎重審議」が393議会で、「賛成」「不明」が12議会だそうです(毎日新聞)。「反対」169議会のうち39議会で与党系議員が賛成していたように、地方でも保守勢力の一部が離反し始めています。

● 大衆的な反対運動の地域・地方への拡大、幅広い層の参加など、大きな変化が生じています。デモやパレードは国会周辺だけでなく地域や地方都市にも広がり、宗教者、映画人、演劇人、文学者などに加え、「自由と民主主義のための学生緊急行動」(SEALDs)などの学生や若者、高校生、ママデモなど女性の参加も増えていきます。安倍政権の「クレーター」まがいの暴挙を許すわけにはいきません。

わたなべ正博のノート

- 1日 視察報告書作成「2カ所分」
- 2日 河川清掃
- 3日 浅間池代表会「耐震結果報告会」
- 上田駅前モーニングスピーチ
- 定期検診「生協診療所」
- 上田市選出県議と上田市議会会派代表との懇談会
- 【上田西高×宮崎日大】決まる生活相談「債務」
- 花火大会
- 原水爆禁止世界大会「長崎」
- 【7・8・9日】
- 10日 広域連合「保健福祉委員会」
- 党議員団会議「一般質問」
- 長大公立化について行政と議会との意見交換会
- 観光議員連盟役員会
- 生活相談「障がい者福祉」
- 生活相談「右同じ」
- 新盆まわりの準備
- 大ろくの花市
- 新盆まわり
- 14日 下之郷班対抗ソフトボール大会
- 盆踊り
- 15日 越戸の花火大会
- 終戦記念上田駅前宣伝「正午」
- 映画「望郷の鐘」丸子セレス
- 上田駅前モーニングスピーチ
- 長野大学へ校内視察
- 【9月議会質問準備】
- 20日 林業林産業活性化議員連盟県総会議
- 議会会派代表者会議
- 21日 モルティ塩田街頭宣伝
- 22日 獅子舞ご苦労さん会
- 上田駅前モーニングスピーチ
- 24日 議会広報特別委員会
- 議会運営委員会【質問通告開始】
- 26日 池波正太郎・・・友の会総会
- 世界大会報告会
- 28日 広域連合「保健福祉委員会」
- 国民健康保険学習会「松本市」
- 30日 信州沖縄塾
- 9月議会「開会」

【8月】



私のブログとツイッター

ホームページは三年前から

HP(「わたなべ正博のページ」)は、三年前から始めました。パソコンの基礎的知識はまるでなかったことと、OS(基本のソフトウェア)にウインドウズでなくてマックを選択したことで扱いを教えてくれる人も限られていましたのでマニュアル本を読んで一からHPを始めました。

HPのトップページには、お気に入りの写真を中央に置き(いまは、吉良よし子参議院議員と四人の党市議団の集合写真)、サイドに毎月発行のわたなべ正博通信「絆」、「メールアクセス」、「人となり」、「家族」、「政策・主張」、「一般質問」、「市政要望」、「釣り



(上田労働)を置き、下段にブログ(「わたなべ正博の万歳録」)、ツイッターへとリンクを張って連携させています。

「万歳録」は、江戸時代の商人が書いた日記

ブログ「万歳録」は、開設から二千二百六十七日(七月十八日現在)を迎え、ツイッターは、八千二百六十六ツイート(同)に達しています。FB(フェイスブック)は、二〇一一年十一月からはじめました。

それぞれ、はじめたころは、周りの視線は(「いつまで続くことか・ヒマなんだ…」と)結構冷たかったのですが、ブログの更新は、「毎日日記を書く」というライフワークにすることを決め、現在に至っています。

ブログにアップしたものは、「通信 絆」の記事として使います。「通信 絆」は毎月一回発行し、議会での論戦や「わたなべ正博のノート」と

してコラム的に活動日誌を紹介、役立つ情報なども掲載し、百二十三号となりました。

発行部数は二千三百で、地元へは全戸四百配布しています。ニュース会員のほとんどは、紙ベース派です。

HPからのアクセスは、いまはあまりありませんが「絆」は毎月更新し、ブログ、ツイッターとも連携している状態で、常に更新している状態です。

ブログを休むと「サボるな」の声

誰でも覗けるブログは、毎日書き込みます。毎日チェックをしている友人がいて、休むとメールで「サボるな」と叱られます。

ブログ更新のため、ノートパソコンはどこへ行くにも持ち歩き、できるだけ早く書き込みます(行政視察の場合は、その日のうちに、研修内容を書き込むようにしています)。

「参考」七月一日から十七日までの閲覧者は、一万九千九百九、訪問者は千五百六十一、七月六日の閲覧数九百七十、七月十四日の訪問者数四百四十九で、最多でした(その日の書き込み数が多いと数字は伸びます)。

内容は、自らの身の回り(議員活動・地域の出来事・党活動など)で起きていることを書き込みます。

加えて、ツイッターの「赤旗News」から記事を選んでブログで紹介しています。

ツイッターはブログと連携しているため、最近ツイッター単独では、ほとんど書き込みませんが、「しんぶん赤旗・日刊紙」の「きょうの潮流」は、外さないようにしています。

FBは遊び心で、若者に接近

FBは、スマホから気軽に書き込みができるので、チョット遊び心で、気軽に書き込んでいます。

書き込むときに常に考えていることは、「若者とうとうしたら友達になれるのか」ということです。

日常の身の回りの出来事を書き込んだときは、「いいね」と反応してくれますが、政治的な内容になると、チョット反応が鈍る傾向はありますが、覗いてはいるのでアップの方法もふくめ、工夫はしています。

「しんぶん赤旗・日曜版」の読者から、「いろいろな人が登

場しますね」と言われ、日曜版最終ページの「ひと」を「今週の顔」として紹介しています。

こだわりのシリーズは、「きょうのワンショット・動画」で、欠かさず毎日アップしています。また、ブログと連携しているため、FBからもブログが覗けます。

「ずく」を出して情報発信

いま、議会や党活動は諸連絡をふくめ、情報交換はメールが主流です。ライフスタイルは、それに合わせざるを得ないので、朝一番でパソコンを覗き、書き込む、夜寝る前も同じことをしています。

この繰り返りで、結構時間的には大変な面もありますが、「共産党を知ってもらいたい、共産党を身近に感じてってもらいたい。渡辺は何を考へ行動しているのか知ってもらいたい。若者との接点を探る…」などを考えながら、「ずくを出して」書き続けています。これからもその精神で、続けたいと思います。

